

タツタシステム・エレクトロニクス
米国UL適合のFPC用電磁波シールドフィルム発売
ノンハロゲンで難燃化を達成
(07年5月23日付、半誘導体産業新聞記事抜粋)

タツタシステム・エレクトロニクス株(大阪府東大阪市岩田町二丁目、〇

ル素材同様、FPC材料においても、要求が高まってきている。

格UL94 VTM-0の適合を達成した。
同社では、当面は汎用グ

六・六七二・三三二)は、

この要求に対応するため、

リードとして普及している

アメリカの難燃規格をクリアしたノンハロゲンのFPC用超薄型電磁波シールドフィルム「SF・PC5500」を開発、この製品を

同社では、導電性接着剤層用の樹脂として、環境負荷物質であるハロゲン系物質を含まず、新たに改良した難燃性材料を使用することで、環境と安全への配慮を

メーカーの高い要求を充足する一部用途を新製品のPC5500が担うと予測している。PC5500は、材料変更による価格高を反映し、現行の五〇%アップ

五月三〇日から東京ビッグサイトで開催される「JPCAショー2007 FPC技術展」(ブース番号2

両立した。
PC5500は、製法、構造、外観、各部構成寸法

の価格設定で販売を開始するが、今後の需要により価格見直しも検討するとしている。

B・22)に出展し、六月から本格出荷を開始する。

物理特性、各種信頼性、FPC加工条件も同一であり、

格見直しも検討するとしている。

同社では、携帯電話のノイズ対策要求を受け、〇〇年三月にFPC用電磁波シールドフィルム「SF・PC1000」を発売、〇五年六月には、総厚二二μm(プレス後一五μm)と厚さ三三%カットし、高摺動性、耐屈曲性に優れた超薄

PC加工条件も同一であり、したがって、FPCメーカーでは、セットメーカーの要求に応じ、自社の製造条件を変更せずにノンハロゲン難燃型FPC用電磁波シールドフィルムが使用でき

る。
PC5000は、ROHS対応、ノンハロゲン、鉛フリーハンダリフロー対応、ソニーグリーンブック登録

型電磁波シールドフィルム「SF・PC5000」を発売、スライド型携帯電話機をはじめとするデジタル機器に広く採用されている

が、近年、発火問題対策や環境負荷低減が他のデジタ

を満たしているが、PC5000は、これらを満たした上で、アメリカの難燃規